

どうぶつの赤ちゃんずかんをつくろう！！

(どうぶつの赤ちゃん)

本単元で育成する資質・能力

「本質を志向する価値観」
「思考力・判断力・表現力」

1 日 時 令和3年1月14日(木) 5校時

2 学 年 第1学年 16名

3 単元観

学習指導要領 第1学年及び第2学年

1 知識及び技能

- (2) ア 共通, 相違, 事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。
(3) エ 読書に親しみ, いろいろな本があることを知ること。

2 思考力・判断力・表現力等

C 読むこと

- (1) ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら, 内容の大体を捉えること。
ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。

学習指導要領第1学年及び第2学年 1 目標

3 学びに向かう力, 人間性等

言葉がもつよさを感じるとともに, 楽しんで読書をし, 国語を大切に, 思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

この単元の本質的な問いは, 「ライオンとしましまの赤ちゃんの違いを見つけるには, 何に気をつけて読めばよいか。」である。

本教材は, ライオンの赤ちゃんとしましまの赤ちゃんの「生まれたばかりの様子」「大きくなっていく様子」を比較して読む。共通する言葉が出てくることで比較する観点が見つけやすくなっている。また, ライオンの赤ちゃんとしましまの赤ちゃんで比較の仕方を学んだ後に「カンガルーの赤ちゃん」を読む学習の流れとなっている。そのため, 学んだことを生かして「カンガルーの赤ちゃん」の学習ができる。

本単元の学習を通して, 比較することで共通点や相違点を見つけることができ, 比較できるように同じ観点で説明してあると分かりやすいということが実感できると考える。本単元で身に付けた力は, 今後の説明文の学習にも大いに役立つと考えられる。

4 児童観・指導観

(1) 実態把握をする

レディネステストの結果から, 文中に合う適切な言葉を正しく埋めることができている児童は75% (12名) だった。また「なぜか?」と問われた問題に自分の言葉で記述する問題の正答率は, 62.5% (10名) であった。

これらのことから, 教材を何度も読んでいて内容が頭の中に入っており, 穴埋め問題を解くことができる。しかし, 教材文に答えが書いてあっても, それを使って自分の言葉で書くことに課題がある。文と文の関係性や意味理解が不十分だからだと考える。

○対象児童の強みや特性

前向きで素直な性格の児童である。肯定的な声かけを続けたり, 側で見守ったりするとやる気を持って学習に取り組むことができる。一方でマイペースな所があり, 学習の準備に時間がかかったり, やる気スイッチが入るまで時間がかかったりする姿が見られる。しかし, 見通しが持てると何をどうしたらいいのか分かり, やる気スイッチも入る。最近, 妹が生まれ, 赤ちゃんが側にいることで「どうぶつの赤ちゃん」にも興味・関心をもって学習に取り組むことを期待している。

○対象児童の学習のつまずきとその要因分析

- ①漢字の読み書きに少し課題がある。
・継続的に何度も同じプリントをすることで, ある程度書けるようになったが, 別の読み方を学習するとよく分からなくなってきた。例えば天気「天(てん)」と天の川の「天(あま)」である。
②語彙数が少ないことから, 教材文の内容理解が難しい。
・教材文が今までよりも長くなり, 文章内の漢字も増え理解が難しくなる。
・文章を読んで, イメージすることが難しい。
③国語に対する苦手意識。
・国語の学習では, 読んだり, 書いたりすることが嫌だという思いから, 前向きに学習することが難しい。

(2) 実態把握を指導方法の工夫に活かす

○学習のつまずきを解消し学ぶ意欲を促すために

- ①漢字の読み書き
・新出漢字は, 何度も読んだり書いたりして定着させる。(フラッシュカードなどを活用する)
・クイズ形式での漢字プリントを用意したり, ゲーム形式で読みリレーをしたりして, 漢字の学習を意欲的にできるようにする。
②教材文の内容が理解できるように
・放課後学習で, 音読練習をする。
・内容を理解したり, イメージしたりすることができるように, 挿絵を用意し, 内容を端的に挿絵に書き込む。
・キーワードを何度も確認することで, どこに注目すればいいかわかるようにする。
・色分けをして本文を囲むことで, 分かりやすくする。
③苦手意識を減らすために
・「どうぶつの赤ちゃんずかん」を作って図書館に置いてもらい, 多くの人に読んでもらうという目的意識をもたせ, 活動の意欲付けを図る。
・「人間の赤ちゃん」の説明文を用意し, 興味をもたせる。
・「読むことが楽しい」と感じさせるために, 絵本の読み聞かせをする。読み聞かせからクイズ大会をすることで, 「読めば分かる」という実感をもたせる。
・今, 興味のある「にゃんこ大戦争」の本を渡し, 読書活動を増やす。

5 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・共通や相違の観点で順序付けられていることを理解している。	【資】思考力・判断力・表現力 ア 構造と内容の把握 ・時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 ウ 精査・解釈 ・共通の言葉を見つけて、比較している。	【資】本質を志向する価値観 ・「どうぶつの赤ちゃん」の図鑑をつくるための説明を考えている。

6 単元計画 (12 時間)


次	学習活動	児童の思考の流れ	観点			評価
			知	思	学	◇評価規準 ★資質・能力 (評価方法)
1	課題設定(1) ・題名やさし絵から動物の赤ちゃんに興味をもつ。 ・「どうぶつの赤ちゃん」から説明の工夫を読み取り、「どうぶつの赤ちゃんずかん」を作ろう！ 【学習の課題設定】	・どんな動物をパッと思い浮かべる？ ・動物ってたくさん種類があるよね。 ・このお話は動物は動物でも、「どうぶつの赤ちゃん」だね。 ・どんな動物の赤ちゃんの話かな？ ・説明文の書き方を学習して、1年生オリジナルのずかんをみんなで作ろう！！			◎	本質を志向する価値観 ◇★「どうぶつの赤ちゃん」について興味関心をもっている。 (発言・行動観察・ノート)
2	情報集・整理分析(1) ・「段落」を理解し、「ライオンの赤ちゃん」の説明、「しまうまの赤ちゃん」の説明、「問い」が書かれたまとまりに分ける。 ・「問い」の内容を読み取る。	・「どうぶつの赤ちゃん」は何文かな？ ・「どうぶつの赤ちゃん」は説明文！ ・説明文には、何があったかな？ ・問いと答えがある。 ・「問い」はおたずねしている文だったよね。 ・問いの文を探してみよう。 ・何の動物の赤ちゃんがでてきたかな？	◎			◇「ライオンの赤ちゃん」の説明、「しまうまの赤ちゃん」の説明、「問い」が書かれたまとまり(意味段落)に分けることができている。 (発言・行動観察・ノート)
3	情報集・整理分析(1) ・「ライオン」と「しまうま」の赤ちゃんの説明で共通している言葉を探す。	・ライオンの赤ちゃんの説明としまうまの赤ちゃんの説明に同じ言葉があるね。 ・「おかあさん」「生まれたとき」「大きさ」があるよ。 ・「目」「耳」も同じ。		◎		思考力・判断力・表現力 ◇★「ライオンの赤ちゃん」の説明と、「しまうまの赤ちゃん」の説明に共通している言葉を探すことができている。 (発言・行動観察・ノート)
	情報集・整理分析(1) ・観点に沿って比較して読み「ライオン」と「しまうま」の赤ちゃんの違いを考える。	・ライオンは生まれたとき、子ねこぐらいの大きさだって。 ・しまうまは、やぎぐらいだって。 ・しまうまのほうが大きいね。 ・ライオンって目や耳がとじたままだって。 ・しまうまは、その逆だね。		◎		思考力・判断力・表現力 ◇★時間を表す言葉に注目して、ライオンとしまうまの様子の変化やその違いを読み取ることができている。 (発言・行動観察・ノート)
	情報集・整理分析(1) ・なぜ筆者はライオンとしまうまの赤ちゃんの説明を書いたのか考える。	・どうして、ライオンとしまうまの赤ちゃんにしたのかな？ ・ますいさんが好きな動物だから。 ・敵同士の動物だから。 ・くらべやすいから。		◎		思考力・判断力・表現力 ◇★文章で取り上げられた2つの動物の関連性を考えることができている。 (発言・行動観察・ノート)

4	情報集・整理分析(1) ・カンガルーの赤ちゃんの生まれたときの様子や成長を読み取る。(本時)	・ライオンの赤ちゃんとしまうまの赤ちゃんの学習をした時と同じ言葉が書いてあるね。 ・カンガルーも「大きさ」や「目や耳」が書いてあるね。 ・「お母さんに」という言葉がないよ。	◎	思考力・判断力・表現力 ◇★カンガルーの赤ちゃんの説明について、観点ごとの様子を見つけながら、カンガルーのお母さんと比較することができている。 (発言・行動観察・ノート)
	情報集・整理分析(1) ・カンガルーの赤ちゃんの説明文から大きくなっていく様子を読み取り、ライオンやしまうまと比較をする。	・どんな動きがあるかな。 ・「お母さんのおなかにははい上がってきます」って書いてあるね。 ・「自分の力で、おなかの袋に入ります」もあるよ。 ・ライオンとしまうまのときと同じ「おちちをのんで」があった。	◎	思考力・判断力・表現力 ◇★カンガルーの赤ちゃんの説明から大きくなっていく様子を読み取り、他の動物の赤ちゃんと比較することができている。 (発言・行動観察・ノート)
5	パフォーマンス課題(4) まとめ・創造表現(1) ・パフォーマンス課題の問題を解く。 ・評価テストに取り組む。	・児童の思考の流れは、8パフォーマンス課題の評価基準を示す。	◎	本質を志向する価値観 ◇★「どうぶつの赤ちゃん」の図鑑をつくるための説明を考えている。 (パフォーマンス課題) 思考力・判断力・表現力 ◇★説明文の構造を理解して、問題を解いている。(テスト)

7 パフォーマンス課題

こくごの学しゅう「うみのかくれんぼ」「じどう車くらべ」では、みんなでずかんをつくりましたね。どうぶつの赤ちゃんでまなんだせつめい文のかきかたをまねして、1ねんせいの「どうぶつの赤ちゃんずかん」をつくろう！！つくったずかんをとしょかんにおいてもらおう。

8 パフォーマンスの評価基準(ICEルーブリック)

	I	G	E																					
評価基準	「生まれたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」を観点に気を付けながら書いている。	「生まれたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」を観点に気を付けながら書き、文に合った写真を選んでいく。	「生まれたばかりの様子」と「大きくなっていく様子」を観点に気を付けながら書き、文に合った絵を描いている。友達の説明を読んで表にまとめ、自分の書いた動物と比較している。																					
反応例	ペンギンの赤ちゃんは、生まれたときは、15センチメートルぐらいです。目はあいています。耳はよく分かりません。おかあさんにすこしにしています。 ペンギンの赤ちゃんは、あたたかいおとうさんのあしの上ですごします。生まれて50日ぐらいたつと、じぶんであるきます。おかあさんがおなかをすかした赤ちゃんに、のみこんできたたべものをわけあたえます。5か月ほどたつと、うみにもぐってさかななどをたべます。	Iに加えて、 	Cに加えて、 <table border="1" data-bbox="1109 1617 1428 1989"> <thead> <tr> <th>たべもの</th> <th>じかん</th> <th>おちち</th> <th>うみ</th> <th>おなか</th> <th>目</th> <th>大きさ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>さかな</td> <td>5か月ほどたつと、うみにもぐってさかななどをたべます。</td> <td>おちちをのんで</td> <td>うみ</td> <td>おなかの袋</td> <td>よく見えていない</td> <td>15センチメートル</td> </tr> <tr> <td>木の葉</td> <td>3か月ほどたつと、木の葉などをたべます。</td> <td>おちちをのんで</td> <td>うみ</td> <td>おなかの袋</td> <td>よく見えていない</td> <td>25センチメートル</td> </tr> </tbody> </table> ペンギンとカウチンチンの赤ちゃん	たべもの	じかん	おちち	うみ	おなか	目	大きさ	さかな	5か月ほどたつと、うみにもぐってさかななどをたべます。	おちちをのんで	うみ	おなかの袋	よく見えていない	15センチメートル	木の葉	3か月ほどたつと、木の葉などをたべます。	おちちをのんで	うみ	おなかの袋	よく見えていない	25センチメートル
たべもの	じかん	おちち	うみ	おなか	目	大きさ																		
さかな	5か月ほどたつと、うみにもぐってさかななどをたべます。	おちちをのんで	うみ	おなかの袋	よく見えていない	15センチメートル																		
木の葉	3か月ほどたつと、木の葉などをたべます。	おちちをのんで	うみ	おなかの袋	よく見えていない	25センチメートル																		

9 本時の展開

(1) 目標

カンガルーの赤ちゃんの説明について、観点ごとの様子を見つけながら、カンガルーのお母さんと比較することができる。

(2) 準備物

挿絵（ライオン・しまうま・カンガルーの赤ちゃんとお母さん）、ワークシート

(3) 展開

学習活動	主な発問と児童の反応予想	指導上の留意点 ☆対象となる児童への支援	評価基準 (評価方法)
1 つかむ ⑩	<p>T：「どうぶつの赤ちゃん」は何文ですか。 C：説明文です。 T：説明文には何がありますか。 C：問いと答えがあります。 T：問いはいくつありますか。 C：2つです。 T：問いは何ですか。 C：「生まれたばかりのときは、どんなようすをしているのでしょうか。」と「どのようにして、大きくなっていくのでしょうか。」です。</p> <p>T：この前は「どうして2種類」か考えましたね。どうしてだったけ？ C：敵同士だから。 C：ライオンは大人になったら強いけど、赤ちゃんのときはよわよわしい。 C：ライオンと反対でしまうまの赤ちゃんはたくましい。ライオンから逃げないといけないから。</p> <p>T：今日は、カンガルーの赤ちゃんについて読みましょう。今日のめあてを書きます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>カンガルーの赤ちゃんが生まれたばかりのときのようすを見つけてまとめよう。</p> </div>	<p>○何文かということを経験聞くことで、発表できると自信をもって手をあげられるようにする。 ☆説明文であること、問いと答えがあることなどを何度も繰り返すことで答えることができるようになった。ここで、活躍できる場とし、意図的指名をする。 ○問いを確認することで、本時でどこを考えるのかおさえる。</p> <p>○前時の振り返りをする。「ライオンの赤ちゃんはよわよわしい」「しまうまの赤ちゃんはたくましい」ということをおさえる。 ☆赤ちゃんとお母さんを並べた挿絵を用意し、生まれたばかりの時と成長したときの違いが分かるようにする。 ○生まれたときの様子だけに絞って考えさせる。【焦点化】</p>	
2 さぐる ⑤	<p>T：カンガルーの赤ちゃんは、いくつの段落で書いてあると思いますか。予想してみましょう。 C：3段落。 C：ライオンもしまうまも3段落ずつだったから。</p> <p>T：音読しましょう。まねっこどうぞ。</p>	<p>○ライオンの赤ちゃんやしまうまの赤ちゃんの文章から予想させる。 ☆少し難しいかもしれないので、指で示させることで、ヒントになるようにする。 ☆音読をすらすら読めないことがあるので、範読をまねして音読をしていく。</p>	
3 ねりあう ⑫	<p>T：ライオンやしまうまの赤ちゃんは、生まれたばかりのときの様子について何が書いてあったかな？ C：大きさです。 C：目や耳の様子です。 C：お母さんに似ているかどうかです。</p> <p>T：見つけて、表に書いてみましょう。</p> <p>T：難しかったところがある？ C：大きさが書いてない。</p>	<p>☆ワークシートを拡大して黒板に貼る。今までの表を活用して、何を考えるのか、書いたらいいのか分かるようにする。【視覚化】 ☆観点を色の短冊に書き、視覚的に区別できるようにする。</p> <p>☆実際に1円玉を用意し、カンガルーの赤ちゃんの重さを実感させる。</p>	

<p>4 まとめ ⑤</p> <p>5 ふりかえる ⑤</p>	<p>C : でも、絵を見たら、1円玉よりも小さいよ。 C : 文章にも「たいへん 小さくて」と書いてあるから、大きさは、小さいって書けばいいと思います。 T : 「大きさは」とは書いてないけど、絵や文章から分かったんだね。カンガルーの赤ちゃんでは、「大きさ」の代わりに何が書いてあった？ C : 重さです。 T : 重さはどれくらいですか？ C : 1円玉ぐらいです。 T : 大きさだけじゃなくて、重さが書いてあるときもあるんだね。ライオンやしまうまの赤ちゃんと比べてみよう。 C : カンガルーの赤ちゃんが一番小さいね。 C : カンガルーの赤ちゃん、小さすぎだよ。</p> <p>T : 目や耳についてはどうかな？ C : どこにあるのか、まだよくわからないって書いてあります。 C : 小さすぎて見つけられないのかな。</p> <p>T : 「お母さんに」のところは、書いてないからあけておく？どんな風に書いたらいい？ C : 全然似てないです。 T : 証拠はある？ C : 絵を見たら、赤ちゃんは小さいけど、お母さんは大きいから。 C : 色も違うから。 C : 赤ちゃんは1円玉ぐらいの重さだけれど、お母さんは違う。 C : 赤ちゃんは目や耳がよくわからないけど、お母さんは分かるから。 T : ということは、あまり似てないというより、全然似てないってことだね。</p> <p>T : 今日のまとめをしましょう。生まれたばかりの様子を表にまとめることができましたね。まとめを書きます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おなじ ようすの ことばに 気をつけて よむと くらべやすい。</p> </div> <p>T : 比べてみると面白いね。今日の振り返りを書きましょう。 C : カンガルーの赤ちゃんの表を書くことができました。 C : ライオンとしまうまとカンガルーの赤ちゃんの中でカンガルーが一番小さくてびっくりしました。 C : カンガルーの赤ちゃんだけ、お母さんに全然似てないことが分かりました。</p>	<p>☆ライオン・しまうまの赤ちゃんの重さも体感させておき、比べられるようにする。 ○「大きさは」と文章では書いてないけれど、挿絵から考えた児童がいれば触れる。</p> <p>☆大きい順に挿絵を並べることで、視覚的にも比べられるようにする。</p> <p>○挿絵や文章から「お母さん」と似ているか、似てないか考えさせる。 ○しまうまはそっくりだったこと、ライオンはあまりに似てないことを確認しておき、カンガルーはどうか考えさせる。 ☆実物の大きさのカンガルーのお母さんと赤ちゃんの挿絵を用意し、比較しやすくする。 ☆ライオン・しまうまの赤ちゃんとも比べやすくするために実物の挿絵を掲示しておく。</p> <p>○比較すると違うところが分かったり、似ているところが分かったりして、面白いことが少しでも感じられるようにする。</p>	<p style="text-align: center;">思考力・判断力・表現力</p> <p>A : カンガルーの赤ちゃんの説明について、観点ごとの様子を見つげながら、カンガルーのお母さんやライオン・しまうまの赤ちゃんと比較することができている。(発言・行動観察・ノート) B : カンガルーの赤ちゃんの説明について、観点ごとの様子を見つげながら、カンガルーのお母さんと比較することができている。(発言・行動観察・ノート)</p>
---	--	--	---

